



第 012 号 2020 年 7 月 16 日 野口佳枝子

明治の女

- 仕事に出かける訳でもないのに、習慣で 5 時半に目がさめます。
- まず、寝床の中で勝手な体操をして最後に腕立て伏せをして起きます。
- 起きて、朝食、洗濯、その後、夕食の支度をします。
- その後、ゆっくりと新聞を読み、読売新聞の「編集手帳」を、字を忘れない為に、一行ずつ読み、覚えて書きます。
- その後、昼食まで読書、あみ物、昼食後に昼寝をし、夕食前に散歩をします。
- 夕食後入浴、テレビを見たり、手仕事をしたりして、11 時に床に入ります。NHK の「ラジオ深夜便」を聞きながら、いつのまにか夢の中です。
- 食事だけの生活です。

野口佳枝子 (カウンセラー)

編集後記

- 野口佳枝子さんは、30 年来、伊豆の高齢者ホームの住人です。比較的若く入居され、なにごとにも意欲的に取り組むので、ホームの顔として PR にも活躍されました。また、趣味は乗馬やウォーキングなど。そしてもっとも力を入れていたのが近隣の高齢者施設でボランティアとして働くことです。これは、財閥企業の経営者であった父上の影響だそうです。また、どこへ行ってもすぐ話に溶け込む人気者です。そしてなんと、現役のカウンセラーです。
- このような人物がいま、自粛を強いられて、「明治の女」を自称しています。学生時代から模範生であった彼女。模範自粛を遂行していますが、彼女にとって失うものがいかに大きいか、想像に難くありません。佐野陽子 (元同級生)